

## 地域おこし協力隊通信 (No. 73)

### 地域おこし協力隊として3年間、ありがとうございました

令和5年3月をもって、地域おこし協力隊の任期が満了となります。この3年間、町民のみならずから多くのことを学び、そして支えていただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。誠にありがとうございます。この経験を生かし、中種子町へできる限り恩返ししていきたいと思っております。

3年間を経て、私のこれからの活動のテーマは「人が減少する地域において、地域づくりをどのように続けていくか」です。どの地域も、人手不足や、仕事が忙しいために草刈りなどの無償の奉仕活動に時間が割けなくなり、続かない…という活動が増えてきています。地域づくりは物を作って売る仕事ではないので、稼ぐ、という概念ではできないものではないと思います。チャレンジ拠点YOKANA（よかな）もその一つで、「みんなで施設を使って商店街に灯りをとますこと」「チャレンジの心理的ハードルを下げることを目的としており、発生した収益は人へは渡りません。以前に協力隊通信で書いた“やってみよう”に挑戦する“文化も、収益化している事例はまだありませんが、地域活性化や、住み続けられるまちづくりには不可欠です。これか

らも、行政や住民の皆さんと共に、どのように中種子町を発展していくか、考えて行動し続けていきたいと思っております。

私は退職後も、町民の皆さんが新しい一歩を踏み出す手助けをしていきます。一緒にフリーマーケットの会場を考えたり、ポスターを作ったり、参加者を募ったりします。そのひとつひとつが地域に対して大きな影響を与えなかつたとしても、「湯目さんに相談してよかつた」と言われるような、そんな相談相手になり続けていきたいです。任期が終わっても、この町で暮らし続けたいと心から思っています。活動の場や機会があれば、お声かけください。

―湯目由華（ゆのめゆか）―  
中種子町地域おこし協力隊員、岩手県出身。誰かの「やってみよう！」と一緒に実現する人。地域デザイナー／コーディネーター



左：湯目知史 右：湯目由華  
見かけたらぜひ声をかけてください！

## 各課からのお知らせ

### なかたね消防だより

◎お問い合わせ先 熊毛地区消防組合中種子分遣所 ☎0119 ☎1039

#### 令和5年春季全国火災予防運動が実施されます

##### ■実施期間

3月1日（水）～3月7日（火）までの7日間

##### ■全国統一防火標語

『お出かけは マスク戸締まり 火の用心』

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とします。

##### ■住宅防火 いのちを守る 10のポイント

##### ●4つの習慣

1. 寝たばこは絶対にしない、させない。
2. ストブの周りに燃えやすいものを置かない。
3. こんろを使うときは火のそばを離れない。
4. コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

##### ●6つの対策

1. 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用する。
2. 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
3. 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、防災品を使用する。
4. 火災を小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使い方を確認しておく。
5. お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
6. 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。